



山上の石垣は寛永20年(1643)からの山﨑氏による再築



正保の城絵図(1645) 国立公文書館蔵



讃岐国丸亀城(大洲の図) 丸亀市立資料館蔵



元文年間讃岐丸亀城絵図 元文元年(1736) 丸亀市立資料館蔵

山﨑氏が寛永20年(1643)から生駒氏の城跡地に再築。正保2年(1645)に徳川幕府へ提出した正保城絵図(国立公文所館蔵)には下段の帯曲輪石垣の角部分はできているが、坤櫓跡の石垣はできていない。 山﨑氏改易時の明暦3年(1657)頃の状況を示すと考えられる絵図(大洲の図)は坤櫓や石垣は完成しており、帯曲輪の石垣は南が側一部完成していない箇所があり、京極氏時代に完成している。

江戸時代の修理の記録と発掘調査による坤櫓台の改修1

①山崎俊家宛御代

「慶安2年(1649)三の丸坤櫓台破損につき、同所の櫓ろと石垣を築き直す事」





崩落した斜面を掘削していくと内部から埋没石垣が出てきました。 埋没石垣には算木積みの石垣もあります。

江戸時代の修理の記録と発掘調査による坤櫓台の改修2

②京極高豊御代

寛文7年(1667)三の丸櫓台普請願い



三の丸坤櫓台東面



三の丸坤櫓台北面

石垣崩落前の状況



2015年9月15日撮影

三の丸西石垣と坤櫓台石垣のき損



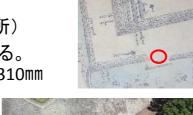
2015年9月19日 撮影



き損の著しい箇所

最初の石垣崩落

7月5日(木) 24時間雨量110.5mm(多度津測候所) 帯曲輪南側S-3の伸縮計動き始める。 7月7日(土) 11時過ぎ頃から崩落 累計雨量310mm





2018年7月7日 14:13



崩落箇所 —

地割れ箇所

帯曲輪南面石垣の崩落

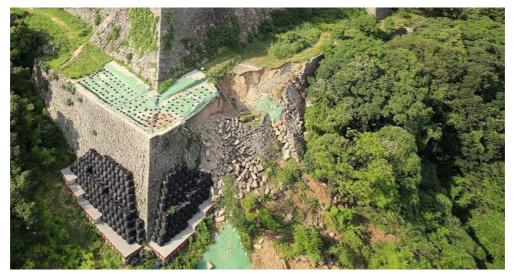


2018年7月7日 13:38



2018年7月7日 14:23

7月7日の帯曲輪南面石垣の崩落状況



ドローン撮影

帯曲輪石垣崩落前の変位状況(南面)



10月7日13:59



10月8日 9:41

帯曲輪西面石垣崩落前の変位状況



10月7日 13:22



10月8日 9:55

帯曲輪西面石垣崩落 <u>午前10時17分</u> 南西帯曲輪西面(隅角部 含む)石垣崩落。南北約18m高さ約16m



10月8日 10:17



10月8日 10:18

带曲輪西面石垣崩落



10月8日15:58



10月8日16:38

三の丸坤櫓跡 石垣崩落(西から) 10月9日(火)

午前4時頃 周辺住民から「大きな音がした」との通報。 <u>午前6時22分</u> <u>三の丸坤櫓跡石垣崩落確認。</u>東西約 25m、南北約30m、高さ約17m。



10月9日 6:36